



2005 年 1 月 1 日発行
発行人：徳丸 公義
発行所：神戸市中央区海岸通 8
神港ビルヂング 5 階 509
TEL：078 - 393 - 0050
FAX：078 - 393 - 0051
(FAX 番号が新設になっています。)
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>

『 新年ご挨拶 』

新年明けまして
おめでとうございます。



神戸慶應倶楽部会長

五代 友和 (昭 37 商)

神戸慶應倶楽部会員の皆様方にはご家族お揃いで良い新年をお迎えになったことと存じます。と申すより、良いお

正月を迎えられんことを願っております。と言いますのは、人間として生きていくということは大変なことですからね。生きている間には楽しいこと嬉しいこともいっぱいありますが、苦しいこと悲しいことも多いです。特に今の時代は確かに昔と比べて豊かになりました。懸命に生きている人で明日のパンに困る日本人は殆んどいない良い時代です。とは言え、余りに便利になった反面、自然破壊が進み温暖化現象や地震、台風にもろい地球になってしまったことで、異常気象や災害も多いし、一方戦後教育の悪い結果として、或いは少子化のせいなのでしょうが、世の中の節度を守れない自分勝手な人達が増えてしまいました。つまり、日常的に倫理感や質朴さを持たない日本人が多くなってしまったことは本当に憂うべきことです。

今私達大人が、本当にしっかりしないと 30 年先、50 年先の日本はとんでもない国になってしまいそうです。今こそ福澤先生の教えを幸いにして受けた私達塾員がいろんな場で、世のリーダーとして頑張っていこうではありませんか。

周りから良くしていきたいものです。私も頑

張りますのでご指導をよろしくお願いいたします。

神戸慶應倶楽部は諸先輩をはじめ会員皆様のご協力でご協力で今や例会、同好会を中心に人が集り、楽しみながら切磋琢磨のすばらしい同窓の場となっております。参加することで何かと得られる、そして楽しい神戸慶應倶楽部にこれからも一層なってくればと、会員皆様方のご指導とご協力を心からお願いする次第です。

幹事長 徳丸 公義 (昭 54 商)



皆様、新年おめでとうございます。五代会長の下、新体制に入ってから半年が経過しました。私は幹事長として他の各地域三田会の幹事の方とお会いする機会が増えましたが、他の

倶楽部の活動状況をお聞きしますと改めて神戸慶應倶楽部の活動の活発さに目を見張る思いです。この半年間、倶楽部ルームでの通常例会以外の倶楽部全体のイベントだけでも夏のサマーパーティー、ピアガーデンでの例会、赤穂へのバスツアー、京都での関西合同三田会、クリスマスの家族例会が開催されており、各種同好会を入れますとそれこそ体がいくつあっても足りないぐらいの会合が開催されています。これはひとえに会員の皆様方のご協力と倶楽部運営に対する熱意の賜物であります。また、今年はいよいよ関西合同三田会が但馬三田会の主管により城之崎温泉の西村屋で開催されます。当倶楽部としましても出来る限りのバックアップ体制を敷く所存ですので皆様方にはこれまで以上のご指導と暖かい御協力をお願いする次第です。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

～ 年末家族例会レポート ～

天木 明 (昭 40 商)

ルミナリエに向かう車の混雑等もあってか定刻をやや過ぎた夕方 6 時過ぎにスタート。

まずは当日のゴルフでガッポリ稼がれたとかで日頃にも増してニコヤカな五代会長のいつものながらの洒落なご挨拶。今年の字は「災」だったとか、来年はこれが「福」に転ずるといいですネー。



続いては興行師徳丸幹事長の力作「華麗なる舞姫のフラメンコ」。以前にイーゼル会のモデルにもなって頂いた竹峰さん、安部さん

(どちらの方にモデルになって頂いたのかは取材し損ねました。スンマセン。)のド迫力ある踊りに全員圧倒されっぱなし。本当に素晴らしいショーでした。

幹事長は見ている男性陣の顔つきがまた何とも云えなかったと話されておりましたが、筆者にとってはカメラマンの特権を乱用してカブリツキに居座っていた八巻カメラマンの姿の方が印象に残っておりますが・・・。

と盛り上がったところでポートピアホテル中内社長肝いりの素晴らしいご馳走の数々を堪能。

二番目のアトラクションはむくつけきウッチーならぬ美人マジシャン、ミッチーの登場。紐の結び目を解くマジックには上島先輩を始め井上(光)、芳川と云った当倶楽部の重鎮の面々も挑戦されましたが、出来のほどは・・・??

それにしても子供サンたちは器用ですよネー。なおこれを機会に塚本副幹事長がマジック同好会を設立されると



の事、重鎮の面々もここで腕を磨かれるのであ

りましょう。

さてさていよいよ呼び物のオークションの開始。名物男ウッチーが多忙にて欠席ということでどうなる事やらと心配した向きもありましたが、そこは天下の慶應倶楽部、元大丸のカリス



マセールスマン浦上忠文 (昭 44 政) 真打ちの登場で神戸慶

應倶楽部の財政状況はおろか日本経済の浮揚にも思いを致すなんと格調の高いオークションで総売上も約 20 万円とここ数年来の高値を付けメデタシ、メデタシ。

恒例の若き血の大合唱でお開きとなりました。素晴らしい家族例会をアレンジして頂いた幹事長はじめ執行部の皆様に御礼申し上げます。

年賀状



会員だより

感情移入のコミュニケーション

森本 泰暢（昭 60 法）

昨年に結婚したのですが、41 歳まで独身でいると周りからは「ホモ」だとか「変態」と言われるようになっていたのですが、今はそれが解消しただけでも良かったと感じています。数年前に既婚の友人が「嫁さんというのは、何とも言えないプレッシャーを与えてくれる」と言っていたのですが、最近やっとその感覚が理解できるようになりました。

そのプレッシャーを少なくするには、まずは今まで通り真面目な生活をする。それと夫婦の会話の基本というか、すべての基本だと思うのですが、「人の話を真剣に聞く」ことが重要ではないかと感じています。

これはスティーブン・R・コヴィー氏の著書「7つの習慣」に書かれていたことで、「感情移入のコミュニケーション」と表現されています。「相手を理解してから自分も理解される」ということで、今までは議論になるときは相手が言った内容に対して、聞きながら次はこのように切り返そうとか、只々話の切れるのを待って、自分の意見を言うことばかり考えている自分がありました。今は夫婦間の会話では日々のちょっとした話でも「真剣に聞く」ということを実行しているつもりです。

テレビ番組の面白い時、新聞を集中して読んでいる時、入社前に仕事のことを考えている時など、「こんなタイミングで話しかけるな」と思っても「真剣に聞く」を実行していると、仕事でも実行できるようになり、社内でのコミュニケーションも以前より良くなったと感じています。

また興味がありましたら「7つの習慣」をお読み下さい。

社中の心

は休みます。

お茶についての^{うんちく}蘊蓄

上島 康男（昭 33 法）

お茶の木には小葉の木と、大葉の木がある。日本は殆どが小葉の木で緑茶が、そして大葉では主に中国茶や紅茶が生産されている。

お茶の葉は、摘んで置いておくとどんどん発酵して黒く変色してしまう。日本の緑茶は摘んで直ぐ（1時間以内）に蒸して熱をかけ発酵を止めるので、美しい緑色のお茶が出来る。

お茶の葉の色が緑から黒い色に変色するのは発酵が進むからで、発酵0%が緑茶、発酵を15%から75%と幅があるが矢張り熱をかけて途中で止めたのが半発酵茶で、発酵の割合により水色、香り、風味も緑茶に近いものから、紅茶に近いものまでバラエティーも豊富。そして100%発酵させたものが紅茶です。

ところが100%発酵の紅茶の中でインドのダージリンと云う紅茶は色が薄い。これはこの地方のお茶の木が他産地の大葉の木でなく、日本の緑茶産地と同じ小葉の木の為、50%発酵程度しか出来ない為です。

中国茶には多くの品種があるが、発酵の割合の少ない方から順に緑茶、白茶、黄茶、青茶、紅茶、黒茶と色で六つに分けている。

<無発酵茶>

【緑茶】 大陸でもっとも生産量、流通量ともに多い茶葉で、中国では烏龍茶が主流と思われている人もいるが、中国の緑茶を多くの人々が飲んでいる。発酵の割合が少ないかもしくは無発酵なので摘みたての清涼感のある香りの物が多く、産地や工程によって風味の幅は広い。代表的な茶葉：「西湖明前龍井」「望海茶」「黄山毛峰茶」など。

<半発酵茶>

【白茶】 弱発酵あるいは微発酵で揉まずに日干しにした茶葉。その多くが新芽に白い産毛が有る事から『白茶』と言われる。代表的な茶葉：「寿眉」「白毫銀針」

【黄茶】 基本的には弱発酵もしくは微発酵だが中には悶黄の工程が入り後発酵になるものもある。生産量の少ない希少な茶葉。

代表的な茶葉：「君山銀針」「霍山黄芽」

【青茶】 日本でも広く知られている「烏龍茶」や「鉄観音茶」などが有る茶葉。弱発酵から完全発酵一歩手前までが半発酵として扱われるため、その幅は広い。当然味わいも多種多様。烏龍茶の魅力はその香りと優雅な甘み。「烏龍」の名の由来は、発酵によって、茶の葉がカラス（烏）のように黒くなり、形も萎縮して曲がりくねり龍に似ているためです。半発酵の烏龍茶は、緑茶と異なる点も多く、これが烏龍茶の特徴で、例えばカフェインが少ないのもその一つです。

代表的な茶葉：「木柵鉄観音」「高山烏龍茶」「凍頂烏龍茶」

< 完全発酵茶 >

【紅茶】 完全発酵の中国茶の『紅茶』は渋味が少なくぜひストレートで飲んでもらいたい。色はインドのアッサム種の紅茶と殆ど同じだが一線を画す。

代表的な茶葉：「祁門紅茶」「九曲紅梅」「政和工夫」

< 後発酵茶 >

【黒茶】 かび（菌）を作用して作られる「プーアール茶」はその代表。時を経て価値の出る茶葉が多く中国茶の中のヴィンテージもの。そのかび臭さが気になる人は、一煎目は茶葉を洗うつもりで捨て、それでも独特の香りが気になるようなら二煎目、三煎目も捨てるぐらいでも良い。

代表的な茶葉：「プーアール茶」「餅茶」「雲南沱茶」

< 花茶 >

茶葉に香り付けをした「花茶」は発酵度で区別したものと別々に独立して扱われる七つめの茶葉です。

【花茶】 緑茶や紅茶などに花などの香りを加えたフレーバーティーです。有名なのは皆さんご存じの「ジャスミン茶」などです。

代表的な茶葉：「ジャスミン茶」「茉莉繡球」（最近人気のボールタイプ）



囲碁同好会

女流プロを招き「特別例会」開催！

林 邦一（昭 40 商）

さる 12 月 2 日に“ 芦田磯子女流プロ 6 段 ”をお招きし、「12 月特別例会」を当倶楽部ルームにて開催しました。

当倶楽部会員・近藤正氏の同級生・竹村肇氏（39 商・慶應囲碁部 OB アマ 8 段）が日頃より交流のある同プロをお連れいただく事となり、我々囲碁同好会会員一同緊張して当日を迎えた次第です。



普通、囲碁の対局は 1 対 1 ですが、当日は 1 対 3 の対局です。芦田プロが我々 3 名と同時進行で対局します。勿論応分のハンデをいただき真剣に対局しましたが、最初の 3 名、五代会長をはじめ浅沼氏、安永氏全員が枕を並べて討ち死にでした。

対局後詳しい解説・指導をしていただき、次の 3 名（宮田氏、平田氏、小生）が挑戦しました。しかしこれも全員見事に負けました。日頃は全員そこそこの腕自慢ばかりですが、この日ばかりは“ さっぱり ”でした。あらためてプロ棋士の“ すごさ ”に感服した次第です。

私もプロはテレビでしか見たことがなく、当日は貴重な体験をさせていただきました。何かちょっと強くなったような気がしています??

KKJC

藤田 也寸志（昭 50 商）

12 月 10 日（金）の夕暮れ、三宮の北野坂を上がった「ミッドナイトサン」で KKJC と KKK（慶應軽音楽鑑賞会）の合同忘年会が行われた。ここは、鍋島先輩（S26 卒）の店である。広

会員の輪

六拝 英彦会員より

長谷川 登喜(昭46文)

私は姫路のカトリック系の中学高校を卒業した関係でカトリックの修道院の経営する女子大生の寮で学生時代を過ごしました。当時は娘が親元を離れるとなると寮に入るといのがごく普通の時代でした。当時の女子大生の寮生活をちょっとご紹介したいと思います。

その寮は世田谷の閑静な住宅街の大きなお屋敷で環境は抜群でした。門限は9時と厳しく、これが1番の悩みの種でした。友人と楽しく過ごしていても時間ばかり気にして、何度タクシーを飛ばして運転手さんに“お願いします、急いでください!”と泣きついたことでしょう。あまり遅刻が続くとカナダ人のシスターの寮長様から“これ以上門限に遅れたらお父様に連絡しますよ”と脅されてしょげかえったりしました。電話も20人あまりの寮生に1台、もちろん携帯なんてない時代ですからいつも電話は順番待ちでお話中ばかり、彼からの電話なんてかかる余地がありません。彼がいないのを門限と電話のせいには出来ませんが……。

でも、もちろん楽しいことのほうが多かったですね。毎夜ティータイムにお夜食タイム(自習時間や消灯後はこっそりと)冬はストーブでラーメンや焼き芋を作ったり、お鍋に油をかけてフレンチフライポテトを上手につくる友人もいました。そして学校のこと、将来のこと、彼のこと、おしゃれのこと……と話題は尽きず、おしゃべりに花が咲きました。そしてお休みに入り帰省の前などは禁制のお酒もこっそり登場して二日酔いで帰れなくなったこともありました。

こうした“同じ釜の飯を食った”友達は学校の友達とはまた違った仲間として今もたまに会ったり一緒に旅行したりと親しく付き合っています。今になってみると当時厳しくて不便で、と不満に思ったことが全部懐かしくこの寮で学生時代を過ごせたことがありがたく思えてくるものです。

でもこのような寮は今の若い学生には人気がないらしく数年前にはなくなりました。

島からわざわざ飛び入りで参加された方も含めて、総勢25名の貸切となった。

最初に、鍋島先輩の紹介から始まったのだが、まずは年齢を聞いてびっくり!毎日、何回かのステージをこなされ、休みの日にはゴルフを楽しまれ、そのしっかりした立ち居振舞いからは、とても78歳とは思えない矍鑠ぶり。

次に、出身を聞いて更にびっくり!なんと

幕末の薩長土肥の肥前鍋島侯の末裔で、ご祖父の代までは貴族院議員を勤めら



れていたという血筋の良さ。

乾杯も終わり、さあ演奏開始。心地よいピブラフォンの音色に耳を傾けながら、出てきた料理がこれまたびっくり!三段のお重でまるでミニおせち。淡路屋さんのご協力ということで、寺本先輩(S46商)のご好意にはいつも感謝します。

酒・料理・音楽、あとは……とっていると、そこへ美女二人が登場。会員の中から、宮本様(S39経)奥様と團裕子さん(H法卒)が飛び入りで4曲ずつ歌って下さったのだ。ところがこれがまた「上手い!」とても主婦やOLをしながらの片手間のレベルではない。お二人の感性の素晴らしさに全員が敬意を表したのでした。JAZZを通して全員が一体となった楽しい宴もいよいよお時間。

フィナーレは鍋島先輩のピアノ演奏による、JAZZ調「若き血」を皆で合唱して名残惜しくも解散となった。

<予告>来年1月22日「理子ちゃんを聞く新年会」開催予定: 芦屋レフトアローン
お問合せは、近藤世話人まで

忘年会シーズン……??

イーゼル会、PC同好会も負けじと夫々楽しく宴会を挙行。きたる新年に向かい益々の親交を深めるべく再確認した次第です。



～新年賀詞交歓会にお集まりください～
平成 17 年 1 月 5 日(水) 11:30～17:00

<倶楽部ルームにて>

時間内にご自由にお集まりいただき、ご歓談ください。お酒と軽食をご用意しています。

(会費：無料)

～1 月度例会のご案内～

1 月 21 日(金) 18:30 より

倶楽部ルームにて開催

会費：2,000 円

淡路屋さんの特製弁当を用意いたします。

「福澤諭吉先生誕生記念祝賀会」のご案内

1 月 10 日(月・祝) 18:30～21:30

帝国ホテル大阪 3F <エンパイアルーム>

ちよっぴん

高嶋 哲夫(昭 48 工)

12 月 9 日、『流砂』(光文社文庫)が発売になりました。

「かけがえのない愛のために 男は砂漠へ飛んだ」(帯より)

小説宝石に連載中は「流砂のアフガン」、単行本は「アフガンの風」、そして「流砂」に落ち着きました。基本的には、恋愛小説だと思っているのですが……。よろしく願いいたします。

～事務局よりお知らせ～

メールアドレスを登録された方でメールマガジンが届かない方は、一度倶楽部あてにテストメールしてください。

住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、その都度必ず事務局にお知らせください。

事務局は 1 月 4 日(火)まで休みます。

FAX 番号が新設になっています。

078 - 393 - 0051

お間違いの無いようご注意ください。

～今後の行事予定～

2 月 24 日(木)2 月度例会

3 月 24 日(木)3 月度例会

詳細につきましては、BRB・メールマガジン等でお知らせしますので、毎月ご確認ください。

イーゼル会

今月の絵



池田 雅彦(昭 39 工)

皆さまどしどし原稿をお寄せください。
 「BRB」についてのご意見、ご感想もお聞かせください。

堀 友子
 八巻晤郎

編集後記

○平成十六年の漢字は「災」、本
 当に恐ろしいことばかり。
 新年はもつと幸せな字が選ばれ
 るようにと祈るのは私だけでは
 ないはず。。。 (ほ)
 ○阪神大震災から十年が過ぎよ
 うとしている。中越地震の被災
 地がテレビに映るたびに寒くて
 惨めだったあの冬を思い出す。
 あのと看願った幸せといま思う
 幸せの共通項は「平穏無事」。今
 年はそうあって欲しい。(晤)